身の回りのセンサー（光・温度・人・音を感じ取る）

身の回りの機械は、何を感じ取って動いているのだろう

外（まち）

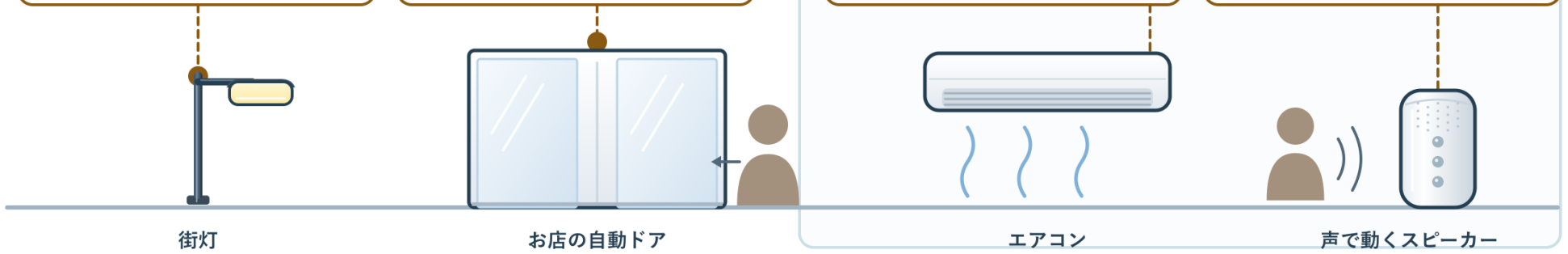
1 光のセンサー
まわりの明るさを感じる
→ 暗くなると明かりをつける

2 人を感じるセンサー
人が近づいたことを感じる
→ ドアを開ける

部屋の中

3 温度のセンサー
部屋の温度を感じる
→ 風の強さを変える

4 音のセンサー（マイク）
声や音を感じる
→ 声の指示で動く



人の感覚とくらべる

目	光のセンサー・カメラ（明るさ・形・色）
耳	音のセンサー（マイク）
はだ	温度のセンサー・ふれたことを感じるセンサー
人にない	見えない光（赤外線）やきょりを感じるセンサーもある

センサーのはたらき

感じ取ったことを、電気の信号（数）に変えて、コンピューターに伝える。

どう動くかを決めるのは、コンピューター（プログラムやAI）。

※ 模式図。センサーの種類やしくみは、機械によってちがう。